

災害支援ナース
生の声

被災された方の声を聞き、手を取り合い、
派遣された災害支援ナース全員が
一丸となって、支援活動に臨みました。



支援活動 01 病院

1月9日から派遣の1班5名は、2カ所の病院で災害支援を行いました。看護師は、自らも被災されたにもかかわらず、入院患者さんに平時と変わらない看護を行い、入院や別の病院への退院調整などに追われていました。そんな中、DMAT※の看護師長の指示の下、活動しました。断水のため簡易トイレを使用し、感染が拡大しないように努めていました。

自立型のそうじ用モップを
点滴スタンドとして代用!

※ DMATとは?

「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チームDisaster Medical Assistance Teamの頭文字をとって「DMAT(ディーマット)」と呼ばれている。

支援活動 02 1次避難所

1次避難所とは・・・災害時の危険を回避するために一時的に避難する場所、または帰宅困難者が公共交通機関が回復するまで待機する場所。

2班(1月12日～15日)からは、避難所(輪島市立門前東小学校)への支援が始まりました。体調不良の方について、医師に診察や薬の処方依頼しました。点滴の必要な方にはダンボールベッドの横に自立型のそうじ用モップを立て、点滴スタンドの代用とすることもありました。避難者は高齢者が多く、服用薬を把握する必要がありました。介助が必要で自衛隊が設置したお風呂まで行けない方は、身体を拭いたりしました。

また、感染を防ぐことには常に意識しました。仮設トイレは、消毒スプレーで毎日掃除し、仮設トイレ1基を感染者専用トイレに整備しました。派遣当初は看護師側で行うことも多かったですが、徐々に避難者が地区ごとに集まり、自ら清掃、環境整備、換気などできるように、声掛けをしながら自立に向けた支援を進めていきました。

支援活動 03 1.5次避難所

1.5次避難所とは・・・ホテルなどの2次避難所に入るまで一時的に被災者を受け入れる場所。

「1.5次避難所とは、自宅である。」と引き継ぎを受けました。年齢層は子どもから高齢者、独居・家族連れ、多世帯同居など、様々な地域からの入所でしたが、高齢者が多かったです。主な役割は、保健師から要観察者の相談、要観察者の情報を医師に提供、診察介助、体調不良者への対応、避難者からの診察依頼の対応でした。救急搬送の連絡調整、搬送もありました。

また、医師、看護師、保健師、事務職、介護職など多職種が集まり、ミーティングをしました。こうして、3泊4日の災害支援ナースの活動が終了しました。



1.5次避難所

被災された方に心を寄せて 令和6年 能登半島地震
災害支援ナースの活動

大阪府看護協会が派遣した災害支援ナースの活動についてレポートします。



令和6年1月1日午後4時10分、石川県能登地方で「最大震度7」の地震が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、被災地域で支援活動に尽力する方々に心から敬意を表します。

大阪府看護協会は、日本看護協会の要請を受け、1月9日～2月20日の約40日間、「災害支援ナース」を派遣しました。

災害支援ナースとは、都道府県看護協会に登録し、専門の研修を受けた看護師です。本会には、3月1日現在約400名が登録しています。いつ起こるかかわからない災害に備えて、被災地で適切な医療・看護を提供できるよう人材育成に努めています。

1月9日から派遣を開始、各地から派遣された災害支援ナースは金沢で集合し、日本看護協会が準備したバスで能登半島の派遣先へと向かいました。活動当初は、地盤の隆起が激しく、道路が寸断されている状況で、本来なら2時間もかからないところを8時間かけて派遣先に到着しました。



● 災害支援ナース 派遣実績

	派遣先	派遣期間	派遣人数
病院	市立輪島病院・公立宇出津総合病院	1月9日～1月12日	5名
1次避難所	輪島市立門前東小学校	1月12日～1月24日・1月27日～2月8日	26名
1.5次避難所	いしかわ総合スポーツセンター	1月12日～1月15日・1月27日～1月30日・2月8日～2月20日	12名
			合計43名



歩行訓練・見守り



建物外に設置された仮設トイレ



車中泊の方への夜間巡視

車中泊の方への夜間巡視や建物外の仮設トイレへの介助など、降雪による転倒防止に留意し、支援を行いました。

日本看護協会からの災害支援ナース派遣活動は、2月29日をもって全て終了となりました。本会の派遣調整も一区切りとなりますが、被災地の復興と再生への道のりはこれからです。本会では、今後も被災地に心を寄せ、被災地のために活動できる災害支援ナースの育成に努めてまいります。

★ 日本看護協会 災害支援ナースは、国内の多くの地域での活動実績が評価され、このたび「第58回 吉川英治文化賞」を受賞しました。